

**記入例 小学校3年生**  
**教科につながる初歩的な学習段階**  
**～教科につながる基礎的な学習段階**

フリガナ 児童生徒名	学年 3年	指導時間 週 ( ) 月 ( )
指導時間 週 (3) 単位時間		

日本語の力	【話す力】聞きなれた言葉を組み合わせて、自分自身のことや身近な出来事について、単文を使って話すことができる。	日本語テスト結果
	【読む力】小学校1年生程度の学習漢字が混じった短文を読んで、大意を理解することができる。	1年生語彙調査
	【書く力】自分と関係のあるテーマについて、日常よく使う語彙や表現を使って、短い文を書くことができる。	DLA (JSL対話型アセスメント)
	【聴く力】身近な内容について、2, 3文の連文を聴いて、大意を理解することができる。	【話す】 ・できることを書く。
【教科学習に参加する力】授業の内容に関しては、平易な言葉で説明しても、一斉指導の中では理解が難しい。	【聴く】	

指導目標	・日本の学校生活や社会生活において、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・教科等において、課題把握・情報収集・観察等の様々な活動に日本語で参加することができる。
------	--

日本語指導プログラム	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	日本語基礎・技能別日本語 日本語と教科の統合学習											

指導計画	指導内容、方法に関する評価および学習状況の評価等	
	前期	後期
<b>日本語基礎・技能別日本語 (4月～3月)</b>		
①2年生レベルの漢字を書き順や送り仮名などに注意して書く。 ②学校の行事など経験した事柄について、順序に沿って簡単な構成の文章を書く。 ③身近な内容のまとまりのある話を聴いて、大意を理解する。	①2年生の漢字教材「かんじだいすき」を毎日の宿題にし、家庭学習の習慣付けを行った。 <u>熱心に取り組むことができ、ほぼ終了した。</u> (9月) ②運動会などの行事作文に取り組み、短冊作文の段階ではあるが、 <u>順序を意識して書くことができた。</u> (9月)	③前期の国語「話を聞いてメモをとろう」では、全くメモを取ることができなかった。後期は、授業の初めに帯カリキュラムとして、簡単な話を聞いて <u>メモを取る練習を行った。</u> <u>学校の行事関係の連絡は、取り出し指導の少人数の説明であれば、必要な観点を自分で設定して、メモを取ることができるようになった。</u> (3月)
<b>日本語と教科の統合学習 (4月～3月)</b>		
<b>【国語】</b> ①興味のある課題に対して、日常語彙を使って作文を書く。 ②観察したことを記録する簡単な文章を書く。 ③(リライト教材や視覚教材などの支援を得て)説明文を読み、時間的な順序や事柄の順序などについて理解する。 ④学習内容について、複文を使いながら、順序立てて話す。	①「自分をしょうかいしよう」では、 <u>日常語彙・基礎文型</u> を使って、好きなことを紹介する文を書き、発表することができた。 (5月) ②「かんさつしたことを書こう」では、 <u>町探検</u> に行き、 <u>町に関係ある言葉</u> を覚え、 <u>モデル文を参考にして短文を書く</u> ことができた。 (6月)	③「もうどう犬の訓練」では、リライト教材を使い、場面ごとの内容を理解した。 <u>キーワードを提示すること</u> で、もうどう犬になるまでの訓練を簡単な文でまとめることができた。 (11月) ④「わたしたちの町の行事を紹介しよう」では、 <u>グループの話し合いに参加して自分の意見を言う</u> ことができた。 (2月)
<b>【算数】</b> ・3年生の算数において、 <u>操作活動</u> に日本語で参加する。	・「割り算」では、除数が1位数の簡単な計算の仕方を理解した。「～人で～個ずつ分ける」のような等分除の文章題を理解することができた。 ・「円と球」では、円の中心、直径、半径などのキーワードを関連付けて理解することができた。	・「分数」では、分母や分子の意味を理解し、「1/10は1を10等分した1つ分」のような表現を使って分数の意味を説明することができた。
上記以外の指導課題	・放課後は学童保育に通っており、宿題等の支援を受けている。	

取り出し	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累積時数	8	11	14	10	—	13	14	15	12	10	13	9